

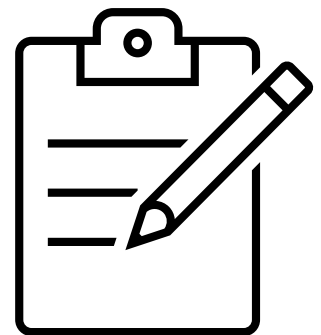
渋滞緩和について

「副首都・大阪」連携プロジェクト
リサーチ・プレゼンテーション 成果発表会資料

阪南大学A班

目次

- 1.中間発表の振り返り
- 2.中間発表後の取り組み① アンケート調査
- 3.中間発表後の取り組み② ヒアリング調査
- 4.まとめ



中間発表の振り返り

- ① アンケートの母数を増やす。
- ② 見える化について詳しい人にヒアリングする。
 - ヒアリングした結果それが大阪の渋滞緩和に適しているのかを考える。
- ③ 御堂筋が歩道化するにあたっての渋滞緩和を考える。
(ヒトと車の共生)
- ④ 事故の詳細について調査し、事故を未然に防ぐ方法を考える。

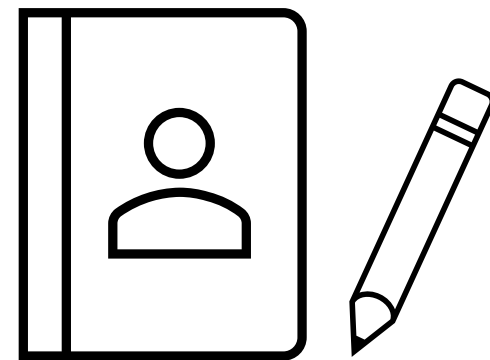
中間発表後の取り組み①

アンケート

中間発表後の取り組み① アンケート

- フリージーを用いての**渋滞緩和**、**歩道化**に関するアンケート
- 近畿圏に在住、18歳以上99歳以下の男女1000人にアンケートをとった。
→このアンケート結果を基に渋滞緩和に関する考察をあげていく。

(参照) <https://freeasy24.research-plus.net>



アンケート結果①

Q1：御堂筋の利用頻度を教えてください。

該当する選択肢がない場合、最も近い選択肢をお選びください。



アンケート結果②

Q2：御堂筋の歩道化が進んでいますが、それについての意見をお聞かせください。



アンケート結果②の回答者の声

- 賛成の意見

- 1.歩行者の安全性の向上
- 2.街並みの美化
- 3.使い勝手と安全性の向上
- 4.観光促進
- 5.環境への配慮

- 反対の意見

渋滞や交通事情の悪化を懸念する声もありました。

→歩道化に伴い大丸前交差点の信号の点灯時間を変更

アンケート結果③

Q4：御堂筋で自動車を利用する目的について教えてください。（複数回答可）



Q5：渋滞を解決するための利用者の提案

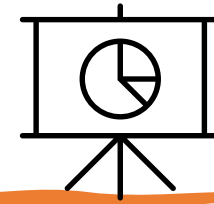
- **交通渋滞解消のための提案**

- 高架の建設や電車の利用促進や駐車場の増設など

- **具体的な対策**

- 路上駐車を取り締まり強化や車線の減少、時間制限の設定、迂回路や道路の整備、公共交通機関の充実

アンケート後のまとめ



• 渋滞緩和

- 駐車場の増設
- 迂回路の整備路上
- 駐車を取り締まり強化



**人と車が共生できる
環境が整う**

• 歩道化の懸念点

- 渋滞や交通事情の悪化

中間発表後の取り組み②

ヒアリング

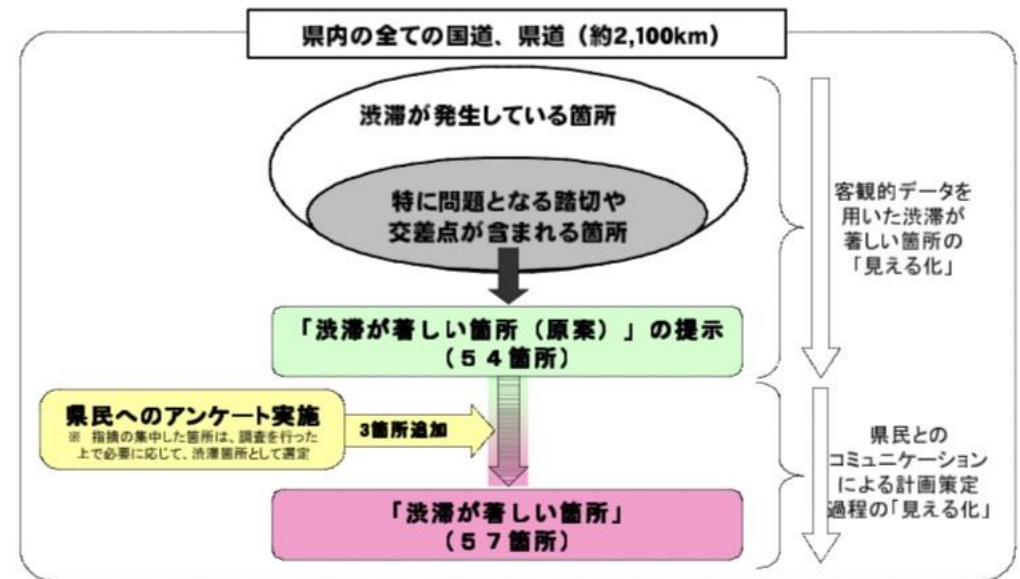
奈良県で行われている「見える化」対策

• 奈良県の「見える化」対策とは
→ 円滑な道路サービスの向上を早期に図るもの

→ ビッグデータと利用者の声を聞いて渋滞箇所を選定している

→ 対策の検討過程について渋滞の状況から対策までの一連を作成・公表するなど「見える化」に取り組む

→ 短期且つ低コストで実施可能



(参照)

<https://www.pref.nara.jp/secure/39149/honbun.pdf>

中間発表後の取り組み② ヒアリング

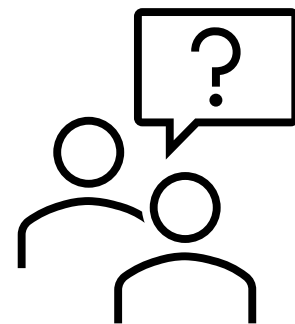
見える化を行った結果

・ メリット

- 対策までのスピードが向上する。
→見える化で常に道路の状態が分かるから、次の新たな対策を練るまでの時間の短縮化ができる。
- 比較的低予算で実施が可能。

・ デメリット

- 対策の効果の継続性が低くなる。
- 見える化だけに依存しては解決しない。



中間発表後の取り組み② ヒアリング

奈良県と大阪府の違い

奈良県

- ビッグデータと利用者の声を元に渋滞箇所を選定している

大阪府

- ビッグデータで渋滞箇所を選定している

ヒアリングのまとめ



- 『見える化』はビッグデータと利用者の声を元に渋滞箇所を選定し、渋滞緩和の対策を行なっている
- 大阪府ではまだ”利用者の声”を取り入れていない。
- 定期調査をすることで新たな対策を生み出すことが可能。
- 常に道路状態がわかるから対策を練るまでの時間短縮が可能。

まとめ

車の渋滞緩和について調査

歩行者などの外的要因も関係している

客観的データ（ビッグデータ） + 利用者の声 = 見える化

正確な渋滞箇所の選定・対策、定期調査からの解決案の生成&短縮化、低予算

見える化を推進するべきだ。